

# 「リーフレット制作を体験！」

## 1 ワークショップのねらい

(1)リーフレット制作の目的, 指導内容について考える

目的: 読み手を引き付け, 情報を分かりやすく伝えること

大事にしたいこと: 文章を書くことに重点を置いた指導

指導のポイント: 相手意識, 目的意識の持たせ方

文章の書き方

写真と文章との組み合わせ方

リーフレット制作授業の単元構成と手順

内容と構成を練るための条件設定

(2)実際にリーフレット制作を体験しながら, 教師の仕掛けや配慮点としての指導構成や準備, 指導のポイントについて学ぶ

## 2 内容

テーマ: 「先生方や学校を家族に紹介しよう」

～学校紹介リーフレットをコンピュータで制作～

実施教科の想定: 国語科, 総合的な学習の時間など

時間: 2時間

## 3 ワークショップの場面設定

(1)相手意識と目的意識

リーフレットとは, 宣伝広告や案内, 説明などのための印刷物です。誰に何を伝えるためのものなのか, 相手や目的に応じた取材や各材料の選択, 文章のまとめ方や表現の工夫を指導する必要があります。相手意識と目的意識を明確にすることが, まず絶対に必要な条件となります。

このワークショップでは, 一例として, 学校紹介リーフレットを制作して保護者に伝える活動を行います。担任以外の先生(校長先生や専科の先生など)のことや学校の施設(特別教室や遊具など)のことを知らせることを目的とします。

今回は, 文章の練り合いに重きを置いているため, 「撮影・取材」に関しては, 割愛しています。そのため, ワークショップではすでに撮影されている写真を使ってリーフレットを制作します。「撮影・取材」は重要な作業の一つですので, 教師の意図によって適時, 指導を加えてもよいでしょう。

(2)子どもたちに付けたい力

- 取材したことを相手に伝わるように文章に書き表す力
- 相手や目的に応じて写真と文章を組み合わせる表現する力
- 互いに書いた文章を検討し合い, 編集する力

### (3) 活動の時間設定と手順

児童の学習活動においては、以下の単元構成が一般的でしょう。

- 1.教科書や実際のリーフレットを読んで、工夫や文章の特長を話し合う
- 2.取材計画を立てて取材(撮影を含む)する
- 3.写真を選択して大まかな内容とレイアウトを考える
- 4.取材したことを元にして文章を書き、互いに推敲しながら練り上げる
- 5.コンピュータを使って、リーフレットを制作する
- 6.完成作品を評価し、学習全体を振り返る

このワークショップでは、リーフレット制作の指導についての理解を図るために、「知識・理解」「構想・作成」「発表・評価」の講義と演習を、以下の構成で実施していきます。

#### 【全2時間】

- 1.リーフレット制作の指導について、考えてみましょう(10分)
- 2.課題を持って、活動の見通しを持ちましょう(10分)
- 3.リーフレットの内容を考えましょう(30分)
- 4.文章を書いて、グループで練り合いをしましょう(25分)
- 5.コンピュータを使って、リーフレットをつくりましょう(30分)
- 6.つくったリーフレットを評価し、学習を振り返りましょう(10分)
- 7.まとめ(5分)

講義と演習部分の手順は、以下のようになります。

#### 【1】〈リーフレット制作の指導について、考えてみましょう〉

- ① 本日のワークショップについて知る
- ② ワークショップのねらいを知る
- ③ 学習指導要領(国語科)での「リーフレット」の位置付けについて確認する
- ④ リーフレット制作の指導の「落とし穴」について考える

#### 【2】〈課題を持って、活動の見通しを持ちましょう〉

- ① リーフレットの目的とコツを知る
- ② ゴールのイメージを持つ  
→リーフレットを完成することが目的ではない  
練り合いや検討のよさを体験することが大事
- ③ ワークショップの流れを知る  
「大まかな内容の決定」→「写真の選択」→「伝えたい内容の整理」  
→「キャッチコピーの決定」→「中身の話し合い」→「個人で下書き」→「グループで検討」→「リーフレット制作(コンピュータ)」→「相互評価」→「まとめ」

#### 【3】〈リーフレットの内容を考えましょう〉

※写真素材一覧、イメージワークシートを活用する

- ① 伝える相手を決め、写真を選ぶ
- ② 伝える内容を整理する
- ③ キャッチコピーを付ける

#### 【4】〈文章を書いて、グループで練り合いをしましょう〉

※原稿用紙ワークシートを活用する

- ① 文章指導のポイントを知る
- ② 個人で紹介文を書く
- ③ グループで書いた文章を練り合う

**【5】〈コンピュータを使って、リーフレットをつくりましょう〉**

※ソフトの操作については、ソフト取扱説明書を参照する

写真素材データをダウンロードする

- ① 選んだ写真を貼り付ける
- ② 文章を入力する
- ③ キャッチコピーを入力する
- ④ レイアウトや配色を考える

※時間があれば、レイアウトを調整する

- ⑤ 表紙やタイトル、グループ名を入れ、印刷をする

**【6】〈つくったリーフレットを評価し、学習を振り返りましょう〉**

※評価シートを活用する

- ① 相互評価の仕方を知る
- ② 相互評価を行う
- ③ 学習を振り返る

**【7】〈まとめ〉**

- ① 教師の立場で見た活動の発表・評価やリーフレット制作の指導における仕掛けと配慮点のまとめを行う

## 4 準備

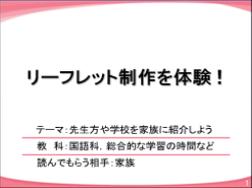
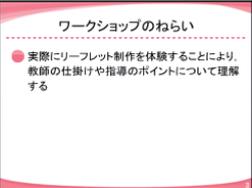
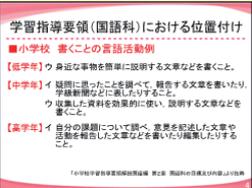
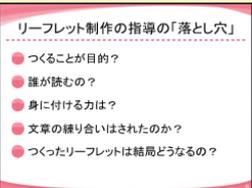
機器環境：複数人に1台のコンピュータ  
使用ソフト：「リーフレット制作」  
USBメモリー  
プリンター

- 準備物：●参加者用ワークショップの手引き  
●提示用スライド  
●リーフレット完成見本  
●リーフレットテンプレートデータ  
●写真素材一覧(サムネイル画像)  
●写真素材データ  
●イメージワークシート  
●原稿用紙ワークシート  
●練り合いカード  
●評価シート  
●自己評価シート  
●ソフト取扱説明書  
●筆記用具

# 5 ワークショップの流れ

リーフレット

「先生方や学校を家族に紹介しよう」

時間	主な発問と参加者の主な活動	進行上のポイント
10分	<p>【1】リーフレット制作の指導について、考えてみましょう</p> <p>「リーフレット制作の指導上の課題には、どんなことが挙げられるでしょうか。」</p> <p>1. 本日のワークショップについて知る</p>  <p>[スライド1]</p> <p>2. ワークショップのねらいを知る</p>  <p>[スライド3]</p> <p>3. 学習指導要領(国語科)での「リーフレット」の位置付けについて確認する</p>  <p>[スライド4]</p> <p>4. リーフレット制作の指導の「落とし穴」について考える</p>  <p>[スライド5]</p>	<p>★ スライドを使って説明する ●</p> <p>問題提示 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ: 「先生方や学校を家族に紹介しよう」</li> <li>・教科: 国語科, 総合的な学習の時間</li> <li>・読み手: 家族</li> </ul> <p>ワークショップのねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の仕掛けや指導のポイントを知ること</li> </ul> <p>学習指導要領(国語科)における位置付け ●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことの言語活動例</li> <li>・「調べたことを報告する文章」</li> <li>・「資料を効果的に使う」</li> </ul> <p>リーフレット制作の指導の「落とし穴」 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つくることが目的?</li> <li>・誰が読むの?</li> <li>・身に付ける力は?</li> <li>・文章の練り合いはされたのか?</li> <li>・つくったリーフレットは結局どうなるの?</li> </ul>

留意点……赤字  
配布物……青字

教師の指導のポイントを明確にさせる。

リーフレットの完成がねらいではなく、子どもたちに力を付けることが重要であることを明確にする。

調べたことを報告する文章を書いたり編集したりすることの言語活動例であることを明確にする。

新聞制作にも共通する内容。リーフレットをつくるのが目的となってしまうと、肝心の力がついていない授業について説明する。